

ひとはみんなのために、みんなはひとりのために

栃木保健医療生活協同組合

健康とくらし

2023年8月
532号

連載
2面

医療・介護の現場から⑤

ケアを必要とする人へ、サービスの橋渡し

居宅介護支援ふたば



撮影：宇都宮市 茂呂さん
場所：栃木市つがの里

待合室

私が生まれ育った地域には「盆綱」という盆行事があります。これは、8月13日の迎え盆に、先祖の霊を迎えるための習俗です。藁を編んでつくった龍に墓地で祖霊をよりつかせ、地域の小学生がその龍をかついで家々を回り、祖霊を自宅へお送りするのです。子どもたちにとっては、おやつとお小遣いがもらえる夏休みのイベントでした。地域によって形態は異なりますが、このような習俗が残っているのは茨城・千葉と九州北部のみで、前者は「東関東の盆綱」として国の無形民俗文化財に選ばれているそうです。

さて、この「盆綱」は私が小学6年生のときまでは男児のみが参加できる行事でした。その年、大人たちに「女の子も参加したい」という旨を訴え、急遽女兒の参加が認められたことをよく覚えています。

この小さな田舎の1つのエピソードでも、少子化の背景、権利の主張、ジェンダーに対する価値観の変化、過疎化、文化継承、土地に根付いた宗教と習俗、様々な切り口から物事を考えることができるのは面白いなと大人になった今でこそ思います。本や新聞、ニュースで目にする言葉たちは、意外と記憶の中の出来事と結びつき、今現在も意識をすれば身近にあるものなのでしょう。そのため、よく耳にするようなワードは「社会の中の話」として捉えるだけではなく、自分や周辺の出来事を思い返し、当てはめてみると理解しやすいのかもしれません。

今年の夏も、私の祖父母が子どもたちの運ぶ龍に振り落とされず、無事に我が家へ帰ってくることを祈っています。

ケアを必要とする人へ、サービスの橋渡し

居宅介護支援ふたば

今回は、生協ふたば診療所2階にある居宅介護支援虹ふたばを紹介します。所長の柳澤聖加子^{やなぎさわ みかこ}さんに事業所の特色や、ケアマネジャーの役割について聞きました。



居宅介護支援ふたばのケアマネジャーの皆さん。
右から2番目が所長の柳澤聖加子さん

― 居宅介護支援ふたば（以下、居宅ふたば）について教えてください。

少人数ならではの連携と横のつながりを活かした、わきあいあいとした事業所です。居宅ふたばのケアマネジャー（以下、ケアマネ）は、ケアマネになる前の経歴が看護分野、介護分野のどちらにも

ので、事業所内で相談をし合い、専門分野を生かしています。わざわざ事例検討の時間を設けずとも、ちょっとした時間で情報共有が出来るのが強みです。少し大変なケースであれば全員が利用者情報を把握しています。1人の利用者を、事業所全体で支えているイメージです。

― 「生協ふたば診療所、緑が丘・陽光地域包括支援センターが同じ建物内にある利点はありませんか。」

一番の魅力は、密に相談ができることです。例えば虐待のケースでは、居宅のケアマネだけでカバーできない部分は地域包括支援センターに相談をしたり、一緒に関わってもらったりします。それが同じフロアで「ちよつといいですか」と声をかけることができます。医師や看護師とも廊下ですれ違ったときにも相談ができるので、コンパクトかつ近い距離感で相談をし合えることが強みだと思います。

一般的に小さな事は「わざわざ聞くほどじゃないかな」と思ってしまう聞けない場合が多いのですが、些細な事であっても顔の見える関係だからこそ聞く事ができます。

― ケアマネの仕事の中で、特に大切な役割は何ですか？

介護サービスを利用している方に対し、基本的には毎月1回の訪問を行い、身体状況や介護サービスの利用状況、今までの生活が継続できているかを確

認しています。

介護サービス利用者と介護サービス事業所の橋渡しをすることが、ケアマネの役割です。例えば「デイサービスで嫌なことがあった」など、本人が直接事業所に言いづらいことがあれば事業所に確認をして改善につなげます。反対に、事業所側から利用者に対する相談をいただくこともあります。利用者と合ったケアプランの作成はもちろんですが、利用者や事業所の間に入り、円滑に進めることがケアマネの仕事です。

― 暦上は秋となりましたが、まだまだ暑い日が続きます。季節柄、注意していることはありますか。

高齢者に関わるケアマネにとって、夏は注意が必要な季節です。高齢になるとは喉の渇きや暑さを感じにくくなり、この暑さの中でも窓を閉め切っていたり、エアコンが切れていたり、重ね着をしている方もいます。普段は週1回ヘルパー利用の方も、夏場は利用回数を増やし、エアコンや水分量の確認をしてもらうなど、介護サービスの調整をしています。命に関わることなので、十分な注意が必要です。

― 組合員の皆さまへ向けてメッセージをお願いします。

介護保険制度がスタートした頃から考えると、情報が浸透し、良い意味で介護サービス利用のハードルが下がったと感じます。しかしながら、介護に関する悲惨な事件は、残念ながらも今でも耳にします。年を重ねていく中で生活や健康面など心配な事が出てくると思います。命が一番大切ですので、不安なことがあれば我慢をするのではなく、まずはケアマネにご相談ください。

知りたい!

健康Q&A



栃木民医連
SDHキャラクター
つなぐちゃん

宇都宮協立診療所

所長代行
武井 大 医師
に聞きました



Q1. 「夏バテ」とは?

「夏バテ」という医学用語はないので症状についても医学的にまとめた物はありません。「疲れる、疲れやすい、だるい、倦怠感」「食欲不振」など、皆さんが抱く「夏バテ」の症状が、そのままではまるではないでしょうか?

日常生活に支障が出てきているようだと対処が必要です。例えば、体重が減るほどの食欲不振、学業や仕事にも影響が出るほどの疲労感、睡眠不足や気持ちの不安定さも、日常生活に支障があるなら心配です。

Q2. 夏バテを予防するには、どうすれば良い?

夏になってから「夏バテ」対策をしているようではちょっと遅いです。夏に負けない体づくり、生活習慣は普段から! 基本的には十分な睡眠、室温調整など環境整備、偏らない飲食を保つことがとても大切だと思います。

夏バテの背景には貧血やもともと持っている病気が悪化している可能性もあります。定期通院中の方はかかりつけ医に相談しましょう。

健康診断も受けましょう。禁煙しましょう。節酒に取り組みましょう。普段から十分な水分摂取をしましょう。

Q3. 今年流行した「ヘルパンギーナ」って何?

ヘルパンギーナとは、主に夏から初秋にかけて流行するウイルス性の感染症で、5歳以下の子にも多くみられます。飛沫感染や接触感染で広がりますので、手洗いやうがいをしっかり行ったり、タオルや食器などの共有を避けたりすることが必要です。

症状の例

- ・突然の高熱(39度以上)
- ・咽頭痛や食欲不振
- ・口の中(特に軟口蓋)に赤い水ぶくれや潰瘍ができる
- ・水ぶくれが割れて痛みが強くなる
- ・食事や水分がとれないことで脱水症状を起こすこともある

ヘルパンギーナは自然に治る病気で、特効薬はありません。対症療法として、解熱剤や鎮痛剤を服用したり、刺激の少ない食事や水分をこまめに摂ったりすることが大切です。

すこしお レシピ

夏バテ予防に
オススメの
レシピです!



★鮭と卵ときゅうりの散らし寿司

【材料】 2 人分

- | | | | |
|------|-------|--------|-------|
| ・ごはん | 300 g | ・油 | 小さじ 1 |
| ○穀物酢 | 大さじ 2 | ・きゅうり | 1/2 本 |
| ○砂糖 | 大さじ 1 | ・青じそ | 2 枚 |
| ・甘塩鮭 | 1 切 | ・白いりごま | 小さじ 1 |
| ・卵 | 1 個 | | |

【作り方】

- ①鮭を焼いて、皮や骨を取り除き、ほぐしておく。
- ②卵を割りほぐし、熱したフライパンに油を引いて、炒り卵を作る。
- ③きゅうりは薄切りにし、塩(分量外)もみしておく。
- ④青じそは千切りにする。
- ⑤炊きあがったご飯に○を混ぜ合わせ酢飯を作る。
- ⑥⑤に①・②・水けをしぼった③・④を加えて混ぜ合わせる。
- ⑦器に盛り付け、白いりごまを振りかけたら出来上がり。

1 人分: 385kcal、塩分1.4 g

◎すこしおポイント

甘塩鮭の塩味を利用し、酢飯には塩を入れていません。青じそや白ごまの香りで薄味でも美味しく食べられます。

◎夏バテ予防ポイント

鮭や酢には疲労回復の効果が期待できます。また、夏バテにより食欲が低下していても、酸味があることでさっぱり食べられるのでおすすめです。

宇都宮協立診療所 管理栄養士 鈴木 美喜

いっしょに！ ボッチャを 楽しもう！

ボッチャの魅力

ボッチャとは、年齢、性別、障がいのあるなしにかかわらず、すべての人が一緒に競い合えるスポーツです。白いボールに、赤・青のそれぞれ6球ずつのボールをいかに近づけるかを競います。ボールを投げて、転がして、単純なスポーツに見えますが、戦略を考えて頭を使うこともボッチャの魅力。成功して喜んだり、的外れのボールに笑ったり、初心者でも盛り上がります。

笑って健康づくり

宇都宮北西支部では昨年、班会として「ボッチャ宝班」をスタート。宇都宮協立診療所でも、毎月第2金曜日に地域交流スペース「虹の杜」で地域の方とボッチャを行っています。協立診療所の武藤事務長は「誰もが楽しく参加できるボッチャ。できるだけ多くの人に参加してもらい、『ゆるく』つながれる場になれば」と語りました。

ボッチャの道具は貸出できますので、ご希望の方は地域活動部（028-600-1606）までお問い合わせください（1セットのみのため、ご希望に添えない場合もあります）。



7/24（月）ボッチャ宝班 試合後に楽しくピース✌️



7/14（金）協立診療所主催のボッチャに参加した皆さん

健活ウォーキング

inみかも山公園



出発前の元気な笑顔で集合写真

7/7（金）健康づくり委員会主催のウォーキングイベントを、みかも山公園（栃木市）にて開催しました。46名が参加し、深まる緑の中を歩きました。

健活ウォークに参加して

足利支部 秋元 晴男

梅雨空が心配されていたが好天に恵まれ、県南部に気を使っていたいた「みかも山」の散策でした。

医療生協の主催だけあって出発前に血圧測定などがあり、さらに準備体操や足首もほぐしていざ出発。

「のんびりコース」と「健脚コース」の2コースに分けられました。「健脚コース」は3チームに分かれ、8人で歩きました。登りのコースがかなりきつかったですが2名を除いて無事に歩き切りました。

全員が怪我もなく終われたことは、職員等の行き届いた配慮によるもの十分に伝わり、感謝申し上げます。欲を言えば、歩きながらの会話だけでなく、草花に詳しい方が居て説明があればもっと勉強になったかも!? また県南部で催しがあれば是非とも参加したいと思います。



▶散策路の脇に咲いていた百合
撮影：秋元 晴男



地域で子どもの成長を育む

賑わう夏の日

7/22(土) 子どものみらい応援隊
(医療生協・社団法人正恵会・医療法人
村井クリニック)が夏まつりを開きまし
た。100名近い子どもたちや保護者が
遊びに来て、とても賑やかなイベントで
した。

夏まつりのお楽しみ

焼きそばやかき氷、わたあめ、ヨー
ヨー釣りなど夏まつり定番の出店が並ぶ
中、今年はNPO法人シェアハッピー
エールさんのご協力があり、駄菓子屋も
開店。子どもたちはお金の計算をしなが
ら、好きな駄菓子をカゴに入れました。
スイカ割りも盛り上がり、子どもたちの
笑顔をたくさん見ることができました。



浴衣や甚平を着て遊びに
来てくれました

「先生」として小学校へ



勉強を教える池田医師
タブレットを使って学習をしています

魅力ある学校づくり地域協議会の一員
として学校運営に協力する市立西が岡小
学校の「夏休み学習会」に7月25日と26
日、職員が先生として参加し、子どもた
ちの学習をお手伝いしました。

今回ボランティアとして参加した高校
生は「私が小学生の頃も、同じように夏
休みの学習会に参加しました。この地域
は先生以外の大人と触れ合える機会が多
くあり、今でもよく覚えています。その
ような機会があることが、良いなと思っ
ます」と語りました。地域活動の積み重
ねが、今につながっていることを実感し
た出会いでした。

通し行進者と一緒に国民平和行進

7月1日さくら市東輪寺で
行われた広島原爆の残り火分
灯式後に、平和行進は福島県
から栃木県に引き継がれまし
た。宇都宮市内の行進は、8
日と9日でした。北海道網走
から出発した通し行進者山口
逸郎さん(91歳)をお迎えし
ました。80歳からこの通し行
進に挑戦されている山口さん
にみんな元気をもらいまし
た。県内各地のコースで組合
員やドクター・職員が歩き、
ふたば診療所は休憩室を提供
し、山口さんと若手職員の交
流会など、栃木医療生協の参
加に山口さんが喜んでいまし
た。また、ふたば診療所近く
のコンビニで、中学生女子3
人に山口さんが「一緒に歩き
ましょう」と声を掛けると、
山口さんの横に入って横断幕
を持って歩いてくれました。
核廃絶の気持を一緒にできま
した。行進は7月15日埼玉県
に引き継がれました。山口さ
んのご健康と目標達成を祈念
いたします。

(宇都宮実行委員長 増山民江)



宇都宮市内は、原爆被害者慰霊碑のある栃木県総合運動公園からスタート。前列左から3人目が通し行進者の山口さん(7/8撮影)



福島県から引き継ぎ、那須町黒田原駅近くを行進。那須支部の組合員も多く参加しました。(7/1撮影)

通所介護 デイサービス虹

初収穫は大きな大根！

デイサービスの農園での初収穫は、大根でした。こんなに大きな大根が採れてみんな大喜びです。デイサービスの昼食で採れたての大根が食べられて、利用者さんの笑顔が輝いていました。これからもたくさん採れるのを楽しみにしています。

所長 榎 忠光

☎028-600-1601



体験利用・見学を実施しています。
(体験利用は昼食代600円がかかります)

まずはお問合せください。



組合員の

いきいき活動



地域活動を安全に (7/4 地域活動委員会)

地域活動委員会は毎月会議を行っています。今月は会議前に血圧についての基礎知識と、正しい測定方法を学びました。



宇宙と民話がたり (7/20 宇都宮東支部・陽だまりカフェ)

カフェ当日は「アポロ11号」が月面に着陸した日でしたので、宇宙の話がありました。その後、栃木の民話を聞いて交流しました。



夏を描こう！ (7/18 宇都宮北西支部・ニコニコカフェ)

夏の花や野菜を描いて、絵手紙に。「絵を描くのは何年ぶりだろう」と笑いながらも、賑やかな夏色の絵手紙が完成しました。

おすすめ絵本



文：日野原 重明
絵：村上 康成
出版社：講談社

いのちは、どこにあると思いますか？

100歳を超えても現役の医師として最前線の医療現場に立ち続けた医師の日野原重明先生が、95歳の時に小学校で行った「いのち」についての授業を絵本にした1冊です。

映画のご案内



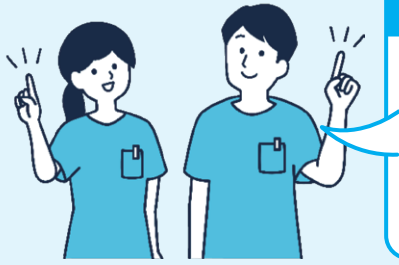
2023年9月1日(金)
全国ロードショー
映画「こんにちは、母さん」

山田洋次監督作品
出演 吉永小百合、大泉洋 ほか

ムビチケットカード
1枚1,200円で販売中

医療福祉生協の生活文化事業の一環として鑑賞運動に取り組んでいます。各支部でチケットの取り扱いがあります。宇都宮協立診療所、生協ふたば診療所及び地域活動部でも販売しておりますので、ご希望の方はお近くの支部運営委員もしくは事業所へお問合せください。

健康診断のおすすめ



ご自身の身体の状態を把握するために、特定健診・がん検診を毎年受けていただくことをおすすめしています。宇都宮市内にお住まいの方は、宇都宮協立診療所、生協ふたば診療所でも受けられます（一部、行えない検査もあります）。

健診ハガキが届いている方は、かかりつけ医や最寄りの医療機関でぜひ受診をしてください。

文芸コーナー

俳句・川柳

船下り暑さ忘れて一句よむ

宇都宮市 橋本とめ子さん

周波数合わせ歓喜の蟬しぐれ

ペンネーム 草詩

短歌

盛暑日はかき氷食べ涼をとり
ながら昼寝で熱中症しらず

ペンネーム イチゴミルク

絵・写真



栃木市 味村 節子さん



LRTの試運転
宇都宮市 井上 隆夫さん



ウチョウラン
宇都宮市 斉藤 千恵さん



美しさに感動した蓮
宇都宮市 茂呂さん



読者の声

災害に心痛めて

梅雨明け宣言前に本格的な夏の暑さになりました。東北・九州では大雨の洪水で被害が大きいです。毎年どこかで災害が起きます。防ぎようがなく悲しいです。

宇都宮市 西浦さち子さん

いのちが一番

エアコンはあまり好きではない私ですが、部屋の中で温度計が30℃を指しているのとエアコンをつけます（さすがに）。電気代のことを考えると我慢しがちですが、何と言っても「いのち」が大事ですからね。これからが夏本番、乗り切りましょう!!

栃木市 味村 節子さん

話題の社会的処方

生協ふたば診療所の千嶋巖医師がNHK「おはよう日本」で地域の交流事業「カムカム」を紹介した番組は、多くの人に関心を持たれ話題でした。

ペンネーム ひろじい

歴史は繰り返す?

ブリゴジン事件を見て、日露戦争の日本勝因の1つとなった「血の日曜日事件」を思い出しました。歴史は繰り返すのでしょうか。

壬生町 田中 吾朗さん

健康の親孝行

友人と旅行。友人はホテルで朝6時25分のテレビ体操をします（私達もつられて一緒にやりました）。テレビ体操が終わると即92才の母親に電話をして、お互いにテレビ体操をやったことをチェック。スマホのテレビ電話画面には、母親が手を振っていました。毎朝これをやっているってすごい！健康の親孝行ですね。

那須塩原市 角田富美子さん

やわらかく生きる

頭のかたい私は、クイズコーナーの「ナンプレ」はできないくらい!!と信じていて、やろうとしません。漢字や文系のクイズは必ず絶対にと決めていきます。もともと頭と気持ちをやわらかく柔軟にして、世の中を生きていきたいものです。「ナンプレ」の解答が届いたら私を褒めてください。

宇都宮市 吉成 志津子さん

ワクチン補助を待っています

生協ふたば診療所では、各種ワクチンや健康管理、レインボー体操などでお世話になり、感謝しております。党市議団の方々が带状疱疹ワクチン補助の1日も早い実施を訴えられていますので、助成が叶ったらすぐに受けたしたいと思います。

宇都宮市 市川 八千代さん

医療×E

熱中症を防ぐ飲み物

熱中症は蒸し暑い環境の下、体温調節ができず体内に熱がこもる状態だ。とくに高齢者が熱中症になると大変。予防方法はエアコンを上手に使うこととこまめに水分をとることだ。ついスポーツ飲料をということがあるが、あまり体を動かさない人にとっては糖分過剰となる。カフェインが入っていない麦茶やほうじ茶をたくさん準備しコップに1杯づつ何回も飲む。外出で汗をかいたときはコンビニでも買える塩あめも有効。

生協ふたば診療所 医師 天谷 静雄

出資金情報

いま生協は

- ①加入組合員(7月)
……33人
 - ②組合員総数
……11,812人
 - ③増資金額(7月)
……964,000円
 - ④出資金総額
……328,723,500円
 - ⑤一人平均出資額
……27,830円
- (2023年7月27日現在)

1	2	3	4	5	6	7	8	9
	4		1	9	5		2	
8	1						9	5
2			4		8			1
4		8				5		9
5				8				3
	3			2			8	
	5	4				9	7	
		9	7	5	2	1		
			6	4	9			

クイズコーナー

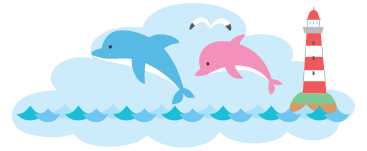
☆今回は少し難しいナンプレにしました。目標タイムは15分です

抽選で3名の方にグルメカードをプレゼント!

応募締切 9月15日 消印有効

6月号クイズの答えと当選者

ペンネーム よーたん
宇都宮市 市川八千代さん
宇都宮市 森田信子さん



1	2	3	4	5	6	7	8	9
5	2	1	9	8	7	3	4	6
6	8	3	4	2	5	7	1	9
4	9	7	3	6	1	2	8	5
9	7	4	5	1	3	8	6	2
2	1	5	8	7	6	9	3	4
8	3	6	2	9	4	5	7	1
3	6	2	1	5	8	4	9	7
7	4	9	6	3	2	1	5	8
1	5	8	7	4	9	6	2	3

宇都宮協立診療所の外来診療表

〒320-0061 宇都宮市宝木町 2-1016-5

TEL 028-650-7881(代)
FAX 028-650-7884

新患の方、急患の方、予約日はまだだけれど具合が悪くなった方などは予約がなくても診察ができますので、ご来院ください。

夜6時以降や休診日は、宇都宮市の夜間休日救急診療所へお願いします。 ☎ 028-625-2211

	月	火	水	木	金	土
9:00 ～ 11:45	植木(予約) 関口 武井 軽部/川口 (内視鏡)	関口(予約) 池田 川口	軽部(予約) 水曜担当医 (山本/平野)	軽部(予約) 関口 川口	軽部(予約) 関口 瀬山 平野(内視鏡)	交替制 11:45まで受付 午後休診
15:00 ～ 18:00	軽部(予約) 月曜担当医 (関口/植木)	山本(予約) 火曜担当医 (平野/池田)	休診	軽部(予約) 木曜担当医 (平野/池田)	軽部(予約) 瀬山(予約) 金曜担当医 (池田/武井)	
	18:00まで受付	16:30まで受付		18:00まで受付	16:30まで受付	

※両診療所、新型コロナウイルス感染症対策のため診療体制が変更になることがあります。※乳児検診(4ヵ月、10ヵ月) 希望の方は、事前にお電話下さい。

●火曜日と金曜日の受付は午後4時30分までです。●「予約」と書いてあるところは時間予約がとれます。予約をとった患者さんのみの診療となります。●予約の無い方は、予約の無い患者さんを診る医師がおりますので、そちらをご利用ください。●申し訳ありませんが、電話での診療予約はできません。来院時、窓口をお願いします。予約の変更は電話でもできます。●土曜日は、交替制となっています。担当する医師は外来に掲示します。

お知らせ
お願い 予約の変更や診療時間や検査の問い合わせは、朝9時から夜7時の間にお願いします。朝の玄関の開錠時間は8時35分頃(朝礼後)です。受付開始時間は、朝は8時35分から、午後は2時30分からです。ご協力をお願いします。病棟の面会は事前予約制となっております。外来終了後、玄関を施錠します。

生協ふたば診療所の外来診療表

〒321-0164 宇都宮市双葉 1-13-56

TEL 028-684-6200
FAX 028-684-6208

	月	火	水	木	金	土
8:45 ～ 11:45	北岡 鈴木(胃カメラあり) 千嶋	北岡(胃カメラあり) 武井 千嶋	鈴木 天谷	北岡 植木 古橋	天谷 千嶋	交替制
16:00 ～ 18:00	天谷	軽部(予約) 鈴木	休診	千嶋	関口	休診

【投稿の募集要項】クイズコーナーの解答、文芸コーナー、読者の声を募集しています。／手紙、はがき、FAX、メール、診療所や班会での手渡し、どのような形でも受付します。／毎月の投稿締め切りは翌月15日です。／お名前(ペンネーム可)、住所、連絡先を明記してください。／感想やご意見などは、文意を変えずに編集させていただきます。／掲載作品は原則として返却いたしません。返却希望の方は必ず投稿時にお申し出ください。

1世帯あたり1通、郵送もしくは組合員による手配りで毎月お届けしています。本人が住んでいない、お引越しなどの場合はお手続きが必要です。

連絡・投稿先



栃木保健医療生活協同組合

「健康とくらし」編集委員会 宛
〒320-0061 栃木県宇都宮市宝木町2-1028-17
電話 028-600-1606 FAX 028-600-1607
HP <https://www.tochigihoken.or.jp/>
メール chiiki@tochigihoken.or.jp
発行人：関口真紀 印刷所：(株)マルダイ印刷
毎月1回20日発行

HPはこちら



残暑お見舞い申し上げます。暑い日が続いていますが、お盆をまたぎ酷暑の峠が越えますように願ってやみません。さて、酷暑で疲れた体を癒すために、休養と栄養、そして暑さ対策を施したうえで、適切な運動が大切です。休養という点では特に睡眠が大切です。栄養はバランスの良い食事、疲れた内臓に負担をかけない消化の良い食事を意識したいですね。さて、宇都宮協立診療所、生協ふたば診療所とも8月はカレンダー通りに開いています。「夏バテが長引いている」と心配な方は早めに受診をおすすめします。

本紙「待合室」にお盆に行われる行事「盆綱(ぼんづな)」が紹介されています。東関東と九州北部だけに残る習俗とのこと。「お盆」とは何かを改めて思い起こさせる貴重な内容です。読者のみなさんが住んでいる地域にもこのような習俗が残っていますか。

昭和中期頃までは3世代が一つの家に住む家庭が多くありましたが、現代は核家族化が進み、家には「お仏壇が無い(拙宅ありません)、お位牌が無い」と言う家庭が多いのではないのでしょうか。今年は祖霊を送迎する茄子やキュウリに割り箸を刺した乗り物を作ってみようと思います。(酒)

編集後記